

第24回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式
校長式辞

本校の農園には、作業学習の農業グループの皆さんが植えた野菜の種から芽が出て春の訪れを告げています。広島市立広島特別支援学校を巣立っていく、高等部卒業生85名の皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いします。

先程、卒業生一人一人に卒業証書を授与しました。この卒業証書は、平和公園にある原爆の子の像に日本はもとより世界から来られた方々が捧げられたおりづるを再生して作られた紙でできています。平和を願う私たちの想いが込められています。それだけではありません。この卒業証書は、高等部3年間を終えることができた皆さんの頑張り、努力と一生懸命生きてきた証としての世界に一枚しかないあなただけのものです。また、一人一人の卒業証書には、これまで影になり日向になり育ててこられたお父様、お母様、御家族、施設の皆様の想い、そして、先生方の想いが込められているのです。一人で生きてきたのではない、多くの方々のお陰があったことも忘れてはなりません。多くの方々に感謝を。

卒業生の姿を温かく見守ってくださっている皆様がおられます。御来賓の皆様です。卒業生の門出のお祝いに駆けつけてくださいました御来賓の皆様、本日は誠にありがとうございます。今後とも引き続き、卒業生への励ましを賜りますようお願いいたします。

在校生の左右には、卒業生の皆さんのこれまでの成長を思い浮かべながら見つめておられるお父様、お母様、御家族、施設の皆様がおられます。幾多の困難を乗り越えながら、お子様の幸せを一番に育ててこられましたことに敬意を表します。また、本校の教育に御理解と御協力を賜りありがとうございました。今後とも、御支援を賜りますようお願いいたします。

さて、卒業生の皆さん、高等部3年間は長かったですか、短かったですか。本校に入学してよかった、本校で学べてよかったとっていただいたでしょうか。高等部第1学年では、宿泊研修を通して友達や仲間ができた。仕事の目標に向かってグループの仲間で働くことを学んだ校内実習。人の役に立つことの大切さを身に付けてきました。高等部第2学年、楽しかった修学旅行は何よりの大きな思い出。友達と一緒に活動し、一緒に見た風景。人に必要にされることの大切さを身に付けてきました。高等部第3学年。高等部最後の文化祭。一生懸命作った製品・作物の販売。お店にはたくさんのお客様を迎えました。精一杯発表したステージでの合唱・合奏。人にほめられることの大切さを身に付けてきました。みんなが一つになってやり遂げた体育祭や学校の周りをきれいにしようと続けてきた出島クリーン作戦、働くことのやりがいと厳しさを味わった職場実習。友達と楽しく語り合った休憩時間。いつも一人ではなかった。友達、家族、先生、多くの人に愛されることを身に付けてきました。

これから社会で生きていくために、輝いていくために、大切なことを身に付けて成長してこられた、平成最後の高等部卒業生の皆さん。「明るく、元気に、たくましく」新しいステージで御活躍されますことを祈っています。卒業、おめでとう。

平成31年3月8日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行